



＜地球規模で考え、地域で行動する＞

第49回 オープン カレッジ

■学長：山崎 祐介(国立富山高等専門学校名誉教授)

■副学長：田添 等楊(画家)

海があるから生き物の命がある

新しい年を迎え、本年最初のカレッジは山崎学長が専門の『海』に関する内容で講義されます。太古の昔から「母なる海」と言われています。生命を育む大切な海について講義をして頂き、皆様と共に考える一時を持ちます。

皆様の参加をお待ちしています。



講師 山崎祐介先生

(国立富山高等専門学校名誉教授)



【やまざき・ゆうすけ】

1941年5月生まれ。1964年神戸商船大学航海学科卒業。山下新日本汽船(株)、海技大学校・太平洋沿海フェリー(株)を経て1979年国立富山商船高等専門学校(現国立富山高等専門学校)航海学科講師、1988年同校教授。2005年同校名誉教授。現在当オープンカレッジ学長。

＜レジメ＞

海の総面積は3億6000万平方kmで、地球表面の70.6%を占め、陸地の面積の2.4倍にもなります。平均の深さは3795mで、多くの海流があります。海は、生物が生きていくうえで必要不可欠で、大きい役割を果たしています。海は、動植物の故郷であり、食糧基地(別の機会に述べます)であり、生き物の住処です。現在の推測では、地球上に約1,000万種類以上もの生物がおり、陸上に住む生物は約100万種類。生き物の9割は海の生物と言われています。まさに海は種類、量ともに生命の宝庫です。そして、地球環境調節システムの心臓という大役を担っています。海は、太陽熱を貯蔵し海流に乗せて運んで地球の気候を決め、蒸発により淡水を発生し、二酸化炭素を森林以上に吸収し、酸素をも森林以上に供給してくれています。海のおかげで、地球上の命の存続があります。しかし、海の自浄能力を超えた深刻な海洋汚染が進行中です。この原因は、人工のゴミや廃水等です。

日 時：2月28日(日) 午後1時30分～

会 場：富山県教育文化会館 501号室

富山市舟橋北町7-1 ☎076-441-8635

参加費：500円

主催：富山県平和大使協議会

富山市西町7-13

☎・FAX 076-421-1712

共催：世界平和連合富山県連合会、アジアと日本の平和と安全を守る富山県フォーラム